

公立大学法人青森県立保健大学
平成27年度 業務実績評価書

平成28年8月

青森県地方独立行政法人評価委員会

目 次

第一	評価の基本的な考え方	-----	1
第二	評価の結果		
1	全体評価		
(1)	総評	-----	3
(2)	業務の実施状況	-----	4
(3)	組織、業務運営等に係る改善事項等	-----	4
2	項目別評価		
(1)	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（教育）	-----	5
(2)	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（研究）	-----	6
(3)	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（地域貢献）	-----	6
(4)	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画	-----	7
(5)	財務内容の改善に関する目標を達成するための計画	-----	7
(6)	教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに 当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画	-----	7
(7)	その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画	-----	8

第一 評価の基本的な考え方

青森県地方独立行政法人評価委員会は、地方独立行政法人法第28条第1項及び第2項の規定に基づき、公立大学法人青森県立保健大学（以下「青森県立保健大学」という。）の平成27年度における業務の実績について、以下の基本的な考え方により評価を行った。

評価の実施に当たっては、青森県立保健大学の年度計画に定めた事項ごとにその実績等を明らかにした業務実績報告書及び法人への聴取等に基づき調査・分析を行い、その結果を踏まえて「項目別評価」及び「全体評価」を行う。

1 項目別評価

中期計画に掲げる次の事項ごとに、中期計画の達成に向けた業務の進捗状況及び特筆すべき事項の内容を総合的に勘案して、5段階により評価する。なお、教育研究については、その特性に配慮し、専門的な観点からの評価は行わず、外形的な進捗状況を評価する。

- (1) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（教育）
- (2) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（研究）
- (3) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（地域貢献）
- (4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画
- (5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための計画
- (6) 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画
- (7) その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画

〔5段階〕

- 5：中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
- 4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
- 3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。
- 2：中期計画の達成のためには進捗がやや遅れている。
- 1：中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

2 全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、平成27年度における業務実績の全体について、記述式により総合的に評価する。また、必要がある場合は、業務運営の改善その他の勧告をする。

青森県地方独立行政法人評価委員会委員及び専門委員

区 分	氏 名	役 職 等
委員長	伊 藤 成 治	国立大学法人弘前大学 理事・副学長
委員（委員長職務代理者）	大 矢 奈 美	青森公立大学経営経済学部 准教授
委員	大 坂 みどり	税理士
委員	今 野 公 司	日本政策金融公庫 青森支店 農林水産事業 事業統轄
委員	中 山 恵美子	有限会社イニシオ 代表取締役
専門委員（大学関係）	梅 庭 牧 子	青森県国民健康保険団体連合会保健活動推進専門員

第二 評価の結果

1 全体評価

(1) 総評

青森県立保健大学は、本県の保健、医療及び福祉に係る諸課題の解決に向けて取り組むことを理念として、人間性豊かでグローバルな視点を持ち、地域特性に対応できる能力を兼ね備えた保健、医療及び福祉の中核的役割を果たすことができる人材を育成すること、並びに保健、医療及び福祉の教育研究拠点として培った人的資源や教育研究成果を広く地域社会に還元するとともに、産学官民の連携した取組による地域貢献活動を展開し、県民の健康と生活の向上に寄与することを使命としている。

第二期中期目標期間（平成26年度から平成31年度まで）の2年目となる平成27年度は、学生へのキャリア支援の充実等により、各種国家試験合格率及び就職率について高水準を維持しており、高い成果を上げたと認められる。

年度計画については、中期計画の達成に向けて、ほぼ計画どおりに実施したと評価できる。

なお、平成26年度及び平成27年度の成果を踏まえたロードマップ等により、中期計画の達成に向けたプロセスを意識しながら取り組む必要があると考える。また、業務実績報告書の記載について、一部の項目において改善が見られるものの未だ抽象的な記載が散見された。当該報告書は業務実績等を対外的に説明するものであることから、実績値を含めたより具体的な内容でわかりやすい表現に努め、統括的な視点を持って確認・整理する必要があると考える。

(2) 業務の実施状況

教育研究等の質の向上（教育、研究及び地域貢献）に関しては、学生の授業改善アンケート及びピア評価※¹等を踏まえ、全科目において、次年度のシラバス（講義要目）に改善が反映されるなど、教育内容の充実に向けた改善の取組が進められたほか、国家試験対策等の学生のキャリア支援の充実等により、各種国家試験合格率及び就職率について高水準を維持している。また、地域課題の解決に向けた3つの既存プロジェクト研究、特に「自殺対策」について、着実に成果を上げているほか、県担当部局と県の健康課題等の施策について情報共有が図られるなど、地域課題の解決に向けた研究が推進されている。県内就職率については、目標値には届かなかったものの前年度に比べて増加しており、就職説明会の充実等といった取組の成果が出始めているものと判断できる。

業務運営の改善及び効率化に関しては、職員の資質の向上を図るため、人事評価結果を配置換えに反映させるといった取組や、教員評価結果を再任人事へ活用するとともに個人研究費へ反映するといった取組がなされた。

財務内容の改善に関しては、科学研究費助成事業の獲得件数については目標値に達していないものの、それ以外の外部研究資金の獲得件数については目標値を上回る実績となった。

教育・研究及び組織・運営の状況について自ら行う点検・評価等並びにその他業務運営に関しては、着実に実施されている。

※1 ピア評価

専門的・技術的な共通の知識を有する教員によって行われる授業評価。

(3) 組織、業務運営等に係る改善事項等

特に改善勧告を要する事項はない。

2 項目別評価

(1) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（教育）

評価

4：中期計画の達成に向けて
順調な進捗状況にある。

入学生の受入れに関して、学士課程において、効率的で効果的な訪問ができるよう教員の高校訪問のガイドラインを見直したほか、大学院課程においても、社会人の都合を考慮して入試の時期を変更するなど、学生募集のための積極的な取組を行ったことは評価できる。

学生の育成に関して、ゲストスピーカーによる実習前教育に係る取組及び小児糖尿病サマーキャンプへ学生が参加する取組等については、地域課題を考慮した学生の実践能力の向上を図る上で効果的であり、評価できる。

教育内容等に関して、学生の授業改善アンケート及びピア評価等を踏まえ、全科目において、次年度のシラバス（講義要目）に改善が反映されるなど、教育内容の充実に向けた改善の取組が進められたことは評価できる。

学生への支援に関して、国家試験対策や就職ガイダンス等のキャリア支援の充実等により、各種国家試験合格率及び就職率^{※2}については高水準を維持しており、高い成果を上げていることは高く評価できる。

そのほかの事項に関しては、年度計画を達成しているものと認められる。

以上のことから、全体として中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。

※2 H27 主な国家試験合格率

看護師99.1%、保健師100%、助産師100%、理学療法士94.1%、社会福祉士92.3%、精神保健福祉士84.6%、管理栄養士90.3%。

H27 卒業生就職率

学部全体98.6%

(2) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（研究）

評価

4：中期計画の達成に向けて
順調な進捗状況にある。

研究内容に関して、地域課題の解決に向けた3つの既存プロジェクト研究について進捗が図られ、特に「自殺対策」について、着実に成果を上げているほか、県担当部局と県の健康課題等の施策に関する研究活動の紹介等の情報共有が図られるなど、地域課題の解決に向けた研究が推進されていることは評価できる。

研究実施体制に関して、研究活動の活性化のため、学内研究費制度（特別研究費等）における要件を拡大することで科学研究費助成事業応募者によりインセンティブを与える制度としたこと及びこれにより特別研究の申請件数が増加したことは評価できる。

そのほかの事項に関しては、年度計画を達成しているものと認められる。

以上のことから、全体として中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。

(3) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（地域貢献）

評価

4：中期計画の達成に向けて
順調な進捗状況にある。

地域との連携及び地域貢献に関して、県民を対象とした県の健康課題であるヘルスリテラシー^{※3}の向上のための公開講座の一部を、青森商工会議所と連携して開催するなど、県民にとって身近な学びの地域拠点としての機能を生かし、教育実績及び研究実績を踏まえた地域連携及び地域貢献がされていることは評価できる。

県民の学習機会等の提供に関して、専門職育成の教育・研究機関として、静脈注射学び直し研修会等の保健、医療及び福祉の専門職を対象とした講習会やセミナーを開催するなど、専門職のスキルアップのための取組を行ったことは評価できる。

人材の輩出に関して、県内就職率^{※4}が全学部合計で39.3%と目標値には届かなかったものの前年度に比べて増加しており、就職説明会の充実等といった取組の成果が出始めているものと判断できる。目標達成に向けた更なる取組を期待する。

そのほかの事項に関しては、年度計画を達成しているものと認められる。

以上のことから、全体として中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。

※3 ヘルスリテラシー（Health Literacy）

健康面での適切な意思決定に必要な基本的健康情報を自ら理解し、効果的に利用する能力。

※4 H27 県内就職率

看護学科40.4%、理学療法学科21.9%、社会福祉学科61.5%、栄養学科25.8%、全学部合計39.3%

（参考）年度計画

第一期中期目標期間における各年度の県内就職率の平均を上回ること。（平均：44.4%）

(4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画

評価

4：中期計画の達成に向けて
順調な進捗状況にある。

人事の適正化に関して、職員の資質の向上を図るため、人事評価結果を配置換えに反映させるといった取組や、教員評価結果を再任人事へ活用するとともに個人研究費へ反映するといった取組がなされたことは評価できる。

そのほかの事項に関しては、年度計画を達成しているものと認められる。

以上のことから、全体として中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。

(5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための計画

評価

4：中期計画の達成に向けて
順調な進捗状況にある。

外部研究資金その他の自己収入の増加に関して、科学研究費助成事業の獲得件数について、目標値に達していないものの原因を分析し対応方針を明らかにしていること、それ以外の外部研究資金の獲得件数について、目標値を上回っていることは評価できる。また、財務内容の改善という点では、獲得件数だけでなく、獲得額の増加についても努められたい。

経費の抑制に関して、光熱水使用量等の抑制について、冷暖房の季節毎の稼働方針に基づく計画的な運用を行うなどにより、目標値を達成したことは評価できる。

そのほかの事項に関しては、年度計画を達成しているものと認められる。

以上のことから、全体として中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。

(6) 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画

評価

4：中期計画の達成に向けて
順調な進捗状況にある。

評価の充実に関して、継続的質向上委員会においてP D C Aサイクルによる継続的質向上に向けた対応方針が策定されるなど、中期計画達成のための自己点検・評価について、年度計画どおりに進められている。

そのほかの事項に関しては、年度計画を達成しているものと認められる。

以上のことから、全体として中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。

(7) その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画

評価

4 : 中期計画の達成に向けて
順調な進捗状況にある。

施設設備の整備・活用、安全管理、人権啓発及び法令遵守に関して、必要な研修会を開催するなど、年度計画を達成していると認められることから、全体として中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。